



# Excel 内部統制 Super棚卸【パスワード】 取扱説明書

2012/7/13

Ver 1.010

## 目次

### 1 はじめに

#### 1.1 本システムが前提とする環境

#### 1.2 【パスワード】アドイン

#### 1.3 ユーザライセンス

## UU2.概要

### 3 インストール

#### 3.1 PC環境

#### 3.2 インストール媒体

#### 3.3 インストール作業

##### 3.3.1 VisualBasic 6.0 SP6 ランタイムライブラリのインストール

##### 3.3.2 アドインのインストール

#### 3.4 アドインの確認とマクロの有効化

### 4.環境設定と管理情報テーブル

#### 4.1 環境設定

#### 4.2 管理情報テーブルの種類

#### 4.3 選択の操作

### 5. 管理ブックリストの作成とパスワードの解除

#### 5.1 処理の流れ

#### 5.2 管理対象ブックの一覧表を作成

#### 5.3 パスワードの解除

##### 5.3.1 ユーザパスワード辞書の取込

##### 5.3.2 Read保護のパスワード解除

##### 5.3.3 ブック、シート、マクロ保護の解除

### 6. 管理ブックへのパスワード設定とプロパティの設定

#### 6.1 パスワードの確認と一括設定

#### 6.2 PW の訂正

#### 6.3 チェックイン制御とパスワードの一時解除、および同一時解除の停止

#### 6.4 ブック属性情報の設定

#### 6.5 ブックの削除

### 7. セキュリティの強化

#### 7.1 VBA 保護

#### 7.2 式のロック

#### 7.3 ブランクシートの削除

## 1 はじめに

### 1.1 本システムが前提とする環境

本棚卸【パスワード】(以下、本ツール)は、以下を条件としています

- (1).適切なクライアントの利用環境であること(OS、Microsoft Officeの版数、CPUの性能)
  - (2).適切なユーザライセンスを所有していること
  - (3).利用環境が適切に整備・定義されていること
  - (4).利用者側において、パスワードの強制解除に関する運用規定があり、当該規定の下で運用されていること
- ※

本システムは、ローカル(閉じた)な管理環境を意図したものであり、ネットワークワイドで利用される場合は、Excel 内部統制シリーズの棚卸【版数】をご検討ください。

### 1.2 【パスワード】アドイン

本ツールにおいて、アドインを事前に組み込むことにより以下の機能を利用できます。

#### (1) パスワードの管理

Excelブックは適切なパスワード保護下で管理される必要があります。このために、選択した複数のブックに対して、一括して

- ・ パスワードの設定状態の確認、パスワード辞書登録による確認
- ・ パスワードの強制解除(不明な場合):※
- ・ パスワードの設定、再設定
- ・ パスワードの一時解除

※:但し、万能ではありません。また解除には相応の時間も発生します。特に特殊なロックを設定されたケースには対応しておりません。

#### (2) ブックプロパティ情報の管理

Excelブックのプロパティ情報を一括して設定することが可能です。これにより、管理者等を簡単に定義することができます。

#### (3) セキュリティの強化

Excelブックのセキュリティの強化策はパスワードだけではなく、式等が定義されている場合の、セルのロック等も必要です。本ツールでは、以下の機能を提供しています。

- ・ VBA保護設定:一律設定の場合は、VBAコードの有無に関わらずパスワードの管理にて対応できますが、VBAコードを含む場合のみ行う場合の保護を可能とします
- ・ 式・定数のロック:式の定義されたセルを検知してロックの設定と当該シートのパスワード保護を行います。
- ・ 未使用シートの削除:未使用シートがあると、シート保護が有効に設定されている場合でも、セルコピーにより式の変更が可能となります。これを防止するためには、ブランクシートを削除して、ブック保護を行う必要があります。

### 1.3 ユーザライセンス:

#### (1).正規版ライセンス

ユーザライセンスは、利用者PCハードウェア数のライセンスが必要となります。

【パスワード】アドインの登録時に、ライセンスがチェックされます。

本ライセンスコードはサポートを受ける場合のユーザ識別子となります。

#### (2).評価版ライセンス

評価版のライセンスコードは、“1”を入力することにより、一定の期間(30日)使用することが可能です。

機能的な制約はありません。

評価版のライセンスではサポートを受けることができません。

### 1.4 仕様の変更

本ツールは改善もしくは品質上の問題から、断りなく仕様を変更する場合があります。

お断り:

1. 本ツールにおいては暗号化処理の[CryptMin.dll](http://homepage2.nifty.com/nonnon/Download/CryptMin/index.html)を使用しております。本DllはNonSoftの著作物であり、再配布の許諾を得ております。

<http://homepage2.nifty.com/nonnon/Download/CryptMin/index.html>

2. また本ツールにおいては、VBA保護操作のライブラリとして[K窓](http://www2.aqua-r.tepm.jp/~kmado/)のkcommand.dllを使用しております。

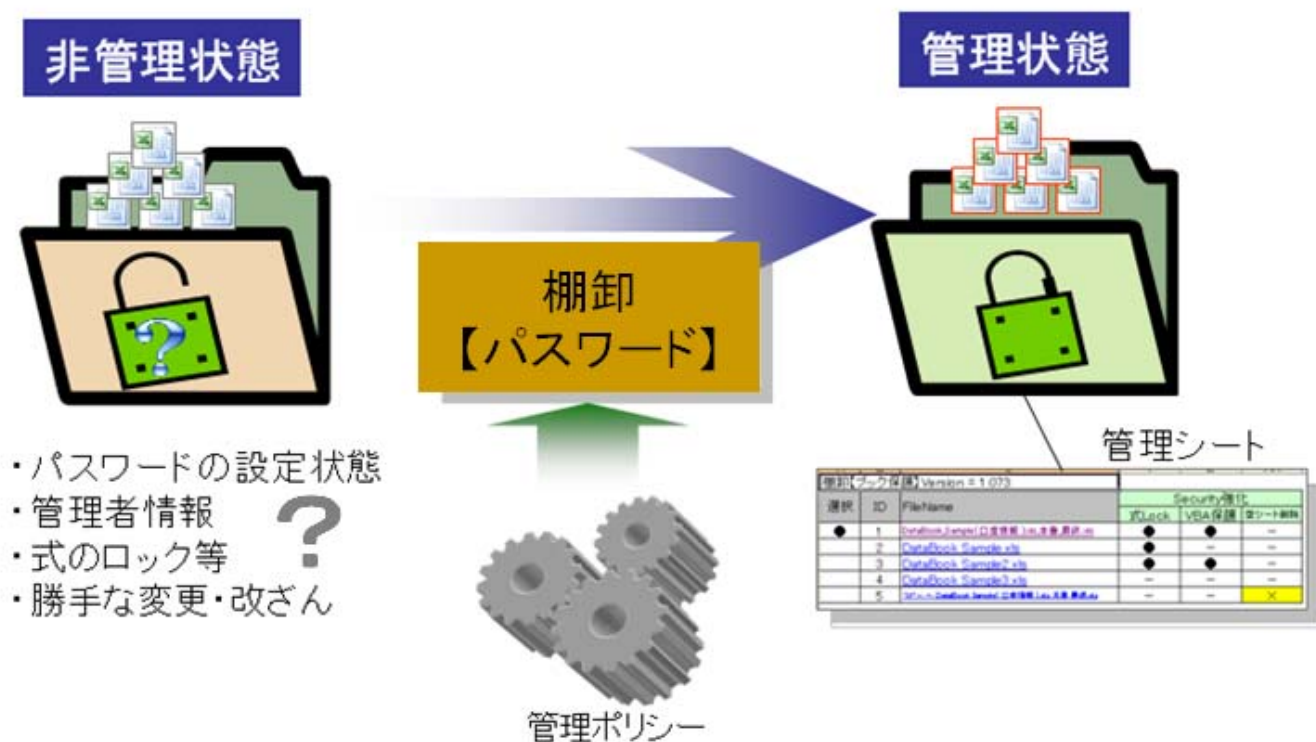
<http://www2.aqua-r.tepm.jp/~kmado/>

## 2.概要

本ツールは、下図に示す通り、管理対象のブックに対して、

- ・ 管理対象リストの作成
- ・ 不明なパスワードの強制解除、再設定
- ・ ポリシーに沿った、パスワードや管理情報の設定

を行うことによって、より強固な管理状態に移行させることを可能にするものです。



### 3 インストール

#### 3.1 PC環境

(1).OS環境:Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7

注意: Windows Vista、Windows 7の環境では、一旦、Administratorアカウント※でインストールしてください。その後にユーザアカウントでのインストールが可能となります。

※:Windows Vista,7にてAdministratorアカウントを有効にする方法は、以下の手順で実行してください。

「コントロールパネル」－「システムとセキュリティ」－「管理ツール」－「コンピュータの管理」と開き、  
「システムツール」－「ローカルユーザーとグループ」－「ユーザー」とたどっていき、  
「Administrator」ユーザをダブルクリックし、そして、「アカウントを無効にする」のチェックをはずす。

(2). Excel版数:アプリケーション: Excel2000、Excel2002、Excel2003、Excel2010(Excel2003互換モード)

※いずれも最新のサービスパック(SP)が適用された版を前提とします。

※複数のExcel版数を利用の場合、デフォルト起動のExcelで本ツールのアドインが有効となります

※Excel2007はVBAの互換上の問題でサポートしておりません。

#### 3.2 インストール媒体

ファイルの種類は以下の構成が必要です。

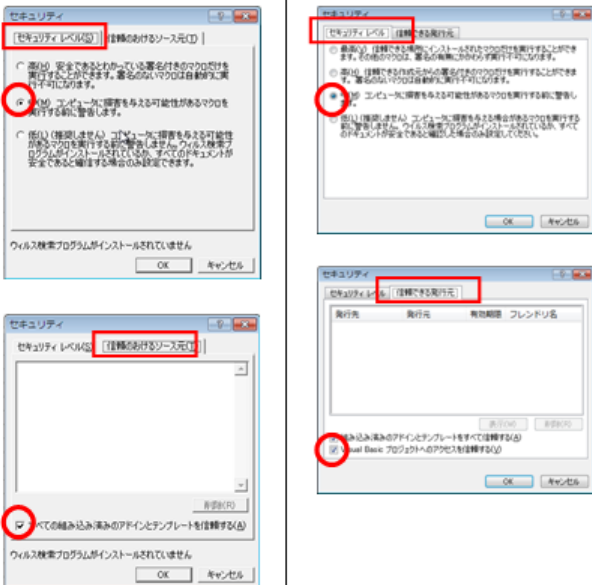
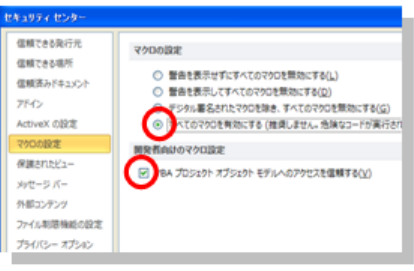
	ファイル名	摘要
1	パスワードインストーラ	アドインのインストーラ
2	Addin	インストールされる【パスワード】のアドインです
2	DLL 群	CryptMin、kcommand、YuzuCommand 保護の 3dll
3	取り扱い説明書	本 pdf

## 3.2 インストール作業

以下の手順に沿ってインストールしてください。

## 3.2.1 Excel セキュリティレベルの変更

本品は Excel の VBA(マクロ)で動作するため、使用に当たってはマクロのセキュリティレベルの変更が必要です

Excel版数	Excel 2000	Excel 2002,2003	Excel 2010
起動	[ツール]→[マクロ]→[セキュリティ]で設定後に再起動		[Excelオプション]→[セキュリティセンター]で設定後に再起動
設定内容			

## 3.2.2 アドインのインストール

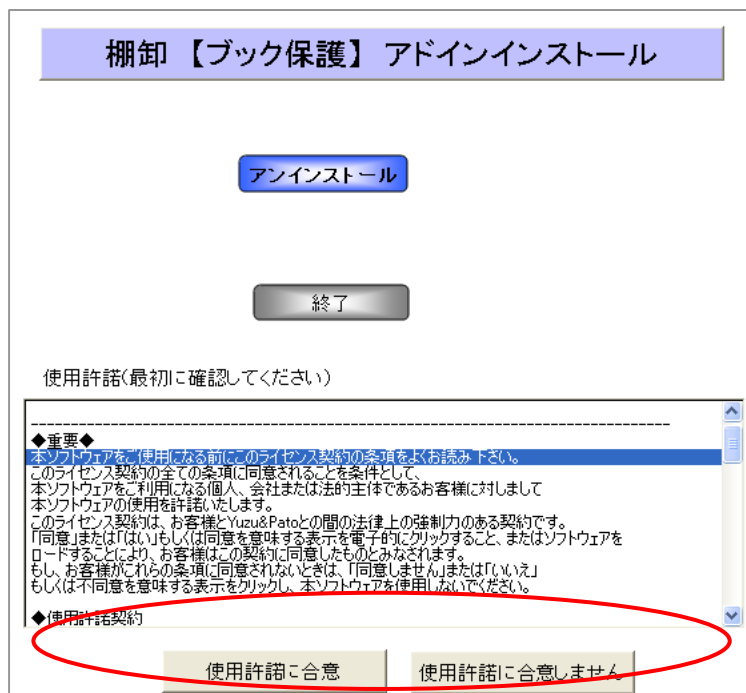
## ① ファイルのコピー

2.2 項の示す媒体を、ローカルの適当な場所にコピーしてください。インストール終了後に削除は行わないでください。

## ② インストーラの起動

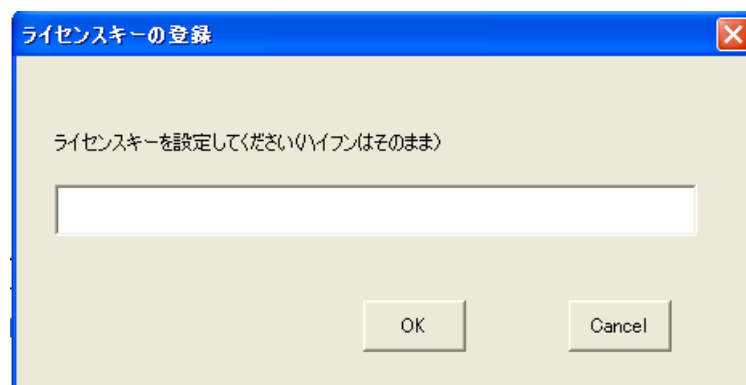
注: Windows Vista、Windows 7 の環境では、Administrator アカウント※でインストールしてください。  
 なお、Windows 2000、Windows XP では Administrator 権限を持つユーザアカウントで行ってください。

## ③ 【パスワード】アドインインストールボタンを押下



・使用許諾に合意が必要です

## ⑤アドインの登録



・「トライアル」版もしくは正規版のライセンスキーをそのまま貼り付けてください

・不正なライセンスキーの場合、エラーとなります。

評価版のキーは、“1”です。

30日の評価が可能となります。

## ⑥操作ログの設定



：未登録の場合は、設定します。インストール後に、コマンドメニューからの設定も可能です。本フォルダには操作ログの保存や、パスワード辞書等が保存されます。

※ログは追記されますので、必要に応じてクリアしてください。



⑦インストールの完了

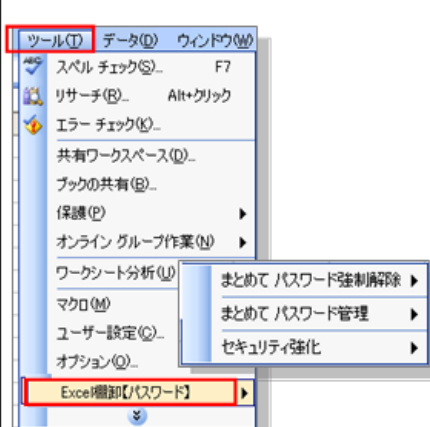



注意:「アドインの起動に失敗しました」と表示される場合は、再度、アドインのインストールを実行して下さい。

※ ファイルは一義的に、Cドライブの ProgramFiles 下の”yuzu\_pw”フォルダに保存されます。

※アドインは当該 Excel の Library フォルダに保存されます。

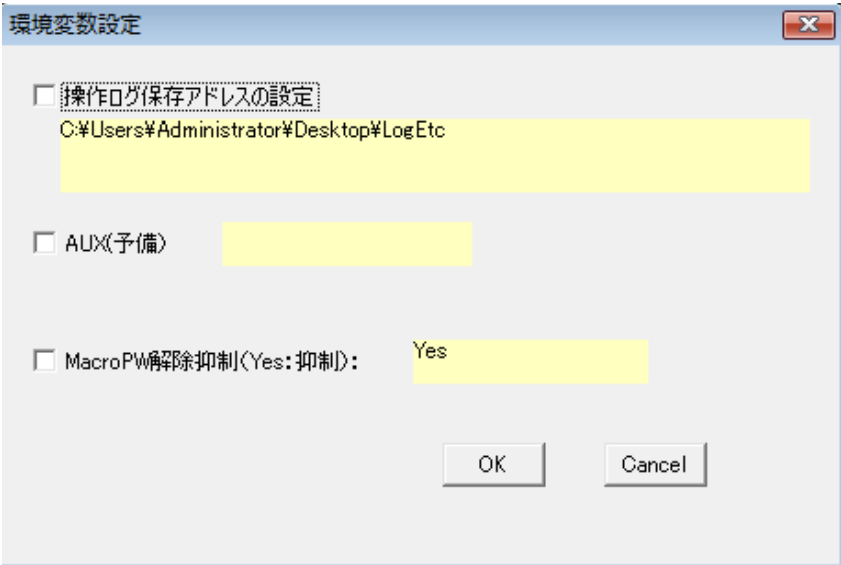
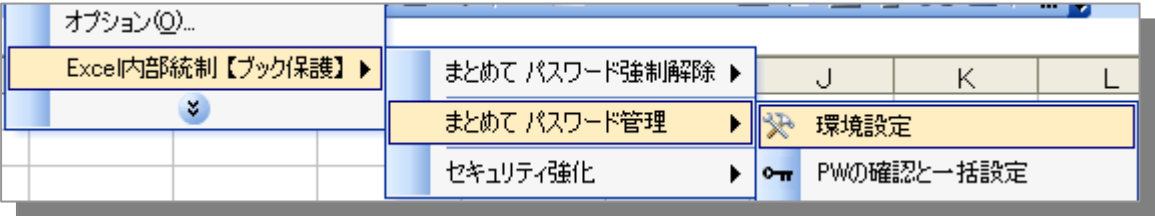
- ・ アドインがインストールされると、“棚卸(PW)”の文字列を含みかつ拡張子”.xls”の Excel ブックが起動されると Excel のメニューバーに棚卸【パスワード】用のコマンドが表示されます。操作は本コマンドメニューから指示します。アドインのメニューバーの表示位置は Excel 版数によって異なります。

Excel版数	Excel 2000、2002、2003	Excel 2010
操作	[ツール]→	[アドイン]タブを表示
		 <div data-bbox="925 1321 1468 1422">これが、棚卸【パスワード】用のコマンドメニューです。 “棚卸(PW)”を含まないExcelブックでは表示されません。</div>

4.環境設定とパスワード制御

4.1 環境設定

ログの保存先等は、インストール時点で指定してありますが、本環境設定により変更することも可能です。



	設定項目	説明
1	操作ログ保存パスの設定	操作ログを保存するパスを指定します。本パス下にパスワード辞書等も作成されます
2	AUX	予備で未使用です
3	MacroPW 解除抑制	マクロの解除を辞書モードで利用することも可能ですが、かえって時間を要する場合がありますので、強制解除(辞書抑制="Yes")に設定済みです。

4.2 管理リストテーブル

管理リストは、本ツールの基本データを管理するもので、以下の4つの情報ブロックから構成されています。

	情報ブロック	配色	説明	非表示
1	基本情報	灰	選択、管理番号、ファイル名に相当する情報で、本情報フィールドは常に表示される。 選択においては、一括選択、グループ選択が可能	不可
2	パスワード管理情報	淡紫	Read,Write、Book,Sheet および Macro 保護設定の有無、パスワード値を登録管理できる	可※
3	Property 情報	青	Excel Book のプロパティ情報を収録し、一括変更等を行うことができる。また、変更編集状態の管理のためにチェックアウト管理も行っている	可※
4	セキュリティ強化	黄緑	式のロックを伴うシート保護や、ブランクシートの削除を行う	可※

※ 各コマンドメニューの「情報表示制御」を操作して表示・非表示を選択できます

《基本情報》ブロック

棚卸【パスワード】Version = 1.010		
選択	ID	FileName

《パスワード管理情報》ブロック

※	有効なPW値	※	未定義PW	※	誤PW	#	一時解除PW		空	PW無し	
パスワード解除状態										Address	
Read	rPW	Write	wPW	Book	bPW	Sheet	sPW	sList	Macro	mPW	

《Property 情報》ブロック

Excel Property Info.								
Title	Company	Manager	Creator	CreatedDate	UpdateTime	Comments	Category	CheckOut

《セキュリティ強化》ブロック

Security強化		
式Lock	VBA保護	空シート削除

### 4.3 選択の操作

共通部の選択欄を用いて対象ブックを選択（単一、または複数）して、本アドインの提供するコマンドを実行することができます。

#### （１）単純選択

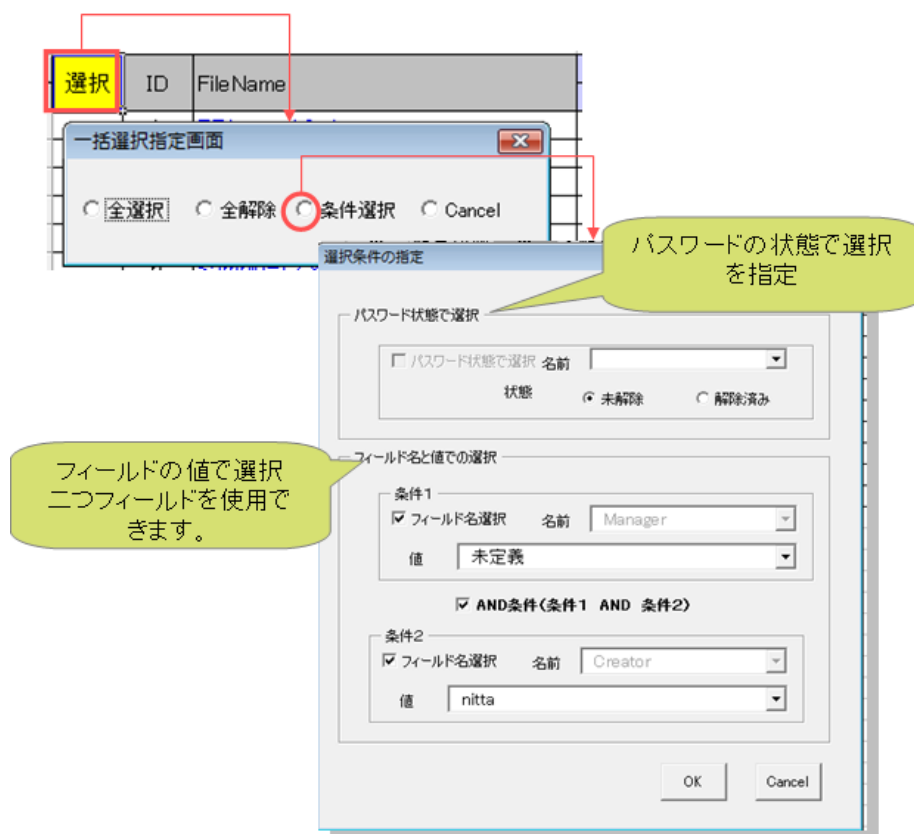
該当ブックの選択欄をセルを選択することで、選択「●」状態になります。複数のセルを選択すると複数を一括して選択状態にすることができます。再度、選択すると非選択「」状態になります。また、当該行の離れたセルを選択しても選択が可能です。

選択	ID	FileName
●	2	<a href="#">DataBook Sample.xls</a>
●	3	<a href="#">DataBook Sample2.xls</a>
	4	<a href="#">DataBook Sample3.xls</a>

#### （２）条件選択

管理するブックが多くなると、実行したいブックの選択が難しくなります。この場合は条件選択機能を使用することで解決できます。

①共通部の「選択」セルをクリック。



「全選択」：全てのブックが選択

「全解除」：全ての選択を解除

「条件選択」：選択したいブックの属性値によって選択。選択可能なフィールドおよびデータが参照できます。

※カテゴリ値をあらかじめ定義しておくにより効率的な選択が可能になります

選択されたカテゴリのブックのみが選択されます

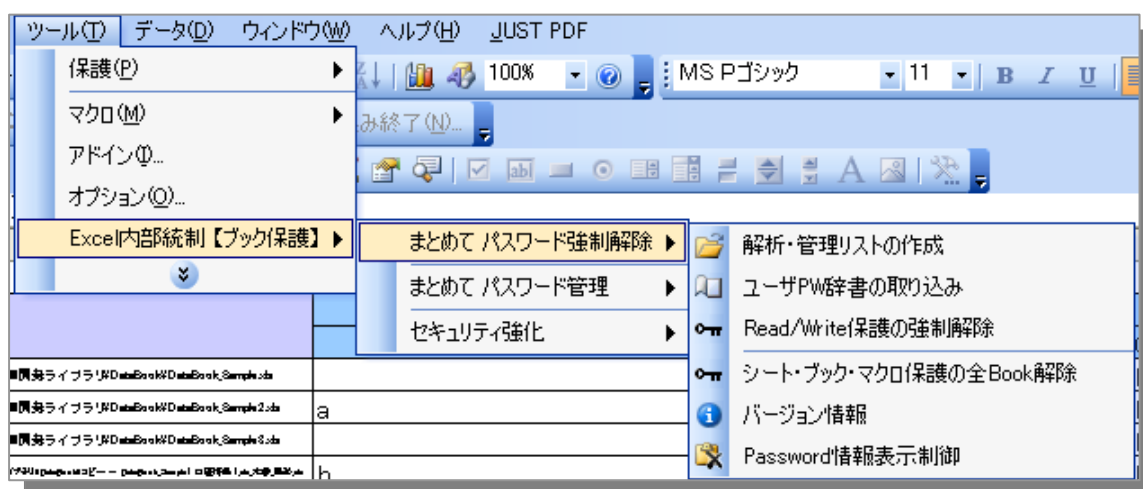
なお、カテゴリの登録方法に関しては 5.4 項を参照のこと

選択	ID	FileName		
			Category	CheckOut
●	2	<a href="#">DataBook Sample.xls</a>	融資関係	
●	3	<a href="#">DataBook Sample2.xls</a>	融資関係	
	4	<a href="#">DataBook Sample3.xls</a>	共通#PW_Locked	

## 5. 管理リストブックの作成とパスワードの解除

### 5.1 処理の流れ

- ① 本ツールで扱うブックの一覧表を作成します。このため、事前に“棚卸(PW)”の文字列を含む、空のブックを作成しておきます。
- ② パスワードが設定されている場合は、リストの作成と同時に「パスワード管理情報」欄に状態が表示されます。



- ③ Read パスワードの解除: Read パスワードの強制解除もコマンドから実行が可能です。相応の時間がかかります。このため、当該パスワードはリストの作成時点で辞書への登録を推奨します。
- ④ その他のパスワードの解除: ブック、シート、マクロのパスワードに関しては、強制解除を使用することで比較的短時間に解除することが可能です。

### 5.2 管理対象ブックの一覧表を作成

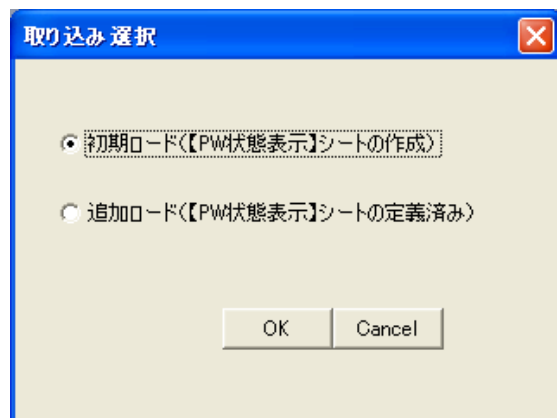
#### ① 管理対象の準備

制約条件は以下の通りです

1. リスト作成時に指定するフォルダは一階層です
2. 同一名は使用できません。同一のファイル名のブックを処理する場合は、管理リストブックを分けてください。

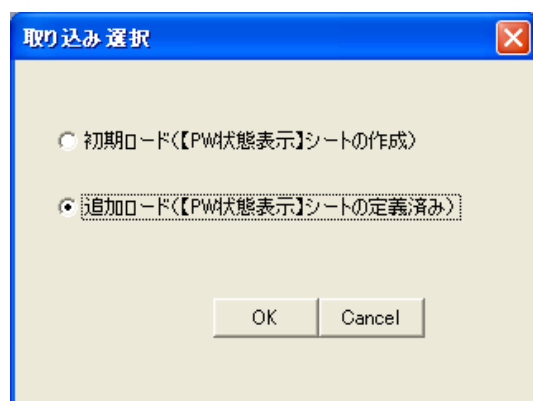
## ②-1 管理対象ブックの取込(初期取込)

＜Excel 内部統制【パスワード】＞・＜まとめてパスワード強制解除＞・＜解析・管理リストの作成＞を起動。

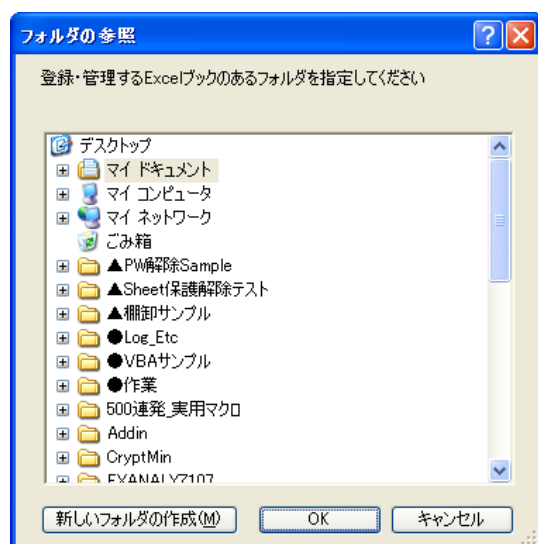


注意1: 初期ロードの場合は、新規に管理シートを作成します。このため、既に[管理シスト]シートが作成済みの場合は、追加ロードとなります。

## ②-2 追加ブックの取込: 運用後等に管理対象が追加されるような場合に使用します。



## ③ フォルダの指定して読み込み



## ④ リストの作成結果とパスワード状態

## ●例1:パスワードが設定されていないブックの場合:

Yuzu&Pato Excel内部統制 【版数管理】		Version	※	有効なPW値	※	未定義PW	※	誤PW	#	一時解除PW		空	PW無し	
選択	ID	FileName	パスワード解除状態											
			Read	rPW	Write	wPW	Book	bPW	Sheet	sPW	sList	Macro	mPW	Address
	1	DataBook Sample.xls												Excel 内部統制管理ファイルの管理ライブラリ(D:\data\excel\internal\control\sample.xls)
	2	PC情報の取得_OS.xls												Excel 内部統制管理ファイルの管理ライブラリ(D:\data\excel\internal\control\sample.xls)
	3	条件付、入力規則の数を計数.xls												Excel 内部統制管理ファイルの管理ライブラリ(D:\data\excel\internal\control\sample.xls)

## ●例2:パスワードが設定されているブックの場合

Yuzu&Pato Excel内部統制 【版数管理】		Version	※	有効なPW値	※	未定義PW	※	誤PW	#	一時解除PW		空	PW無し	
選択	ID	FileName	パスワード解除状態											
			Read	rPW	Write	wPW	Book	bPW	Sheet	sPW	sList	Macro	mPW	Address
	11	DataBook Sample.xls	※		※									Excel 内部統制管理ファイルの管理ライブラリ(D:\data\excel\internal\control\sample.xls)
	12	DataBook Sample2.xls					※		※		1*3	※		Excel 内部統制管理ファイルの管理ライブラリ(D:\data\excel\internal\control\sample2.xls)

- ・パスワードが設定されていると、パスワード状態値(各Read, Write, Book, Sheet, Macro)が※(灰色)に設定され、未解決であることを示します。
- ・パスワードが解決した状態では、各パスワード状態値は※(白)で、隣のセル(xPW)にパスワード値が表示されます。
- ・sListはシート保護のあるシート情報で、保護シート番号が”,”で区切られたリスト表現となっています。末尾に\* nが付加され、nはシート枚数を示す。例、1\*3:3シートの内、1枚目のシートにシート保護あり
- ・Read保護がある場合には、他のパスワード保護の有無がわからないため、全体が灰色になります

## 5.3 パスワードの解除

5. 2項の例2の様にパスワードが設定されている場合は、これらのパスワードを解決しておく必要があります。パスワードの解決の方法は、2通り用意してあります。

## ●方法1: 事前調査結果を登録

調査したパスワードをExcelシートで別途準備し、インポートする形態。解除時間は短時間です。

## ●方法2: 強制解除

パスワードが不明もしくは調査できなかった場合に、ツールにより強制解除します。ただし、この方法は以下の制約があります。

制約1: Excel本来の保護でなく、特殊な保護(ロック)を行っている場合は対応できません

制約2: ブックの共有保護は対応していません

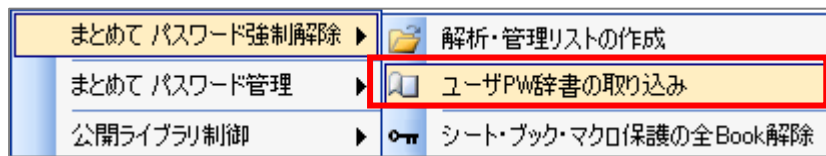
制約3: Read保護の解除は、総当たり式の解除を行っていますので、相当の時間を要します。

このため ReadPW は極力、事前調査することを勧めます

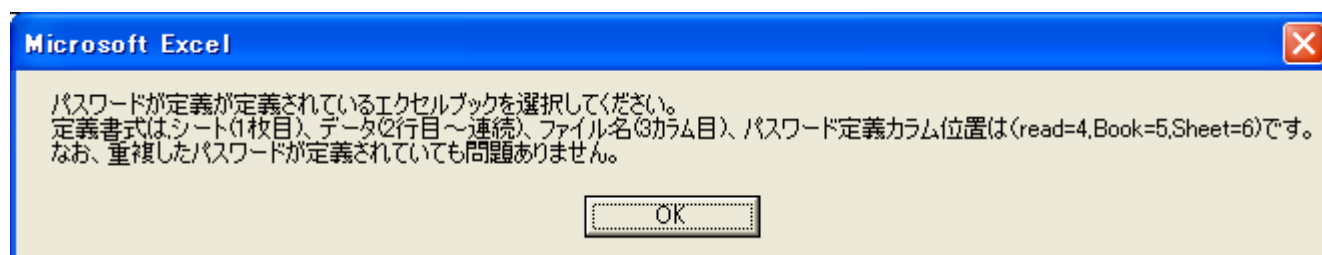
## 5.3.1 ユーザパスワード辞書の取込



ユーザ辞書の取込: 取り込まない場合は不要です



定義シートは以下の形式に従ってください。これによりパスワード辞書を作成します。



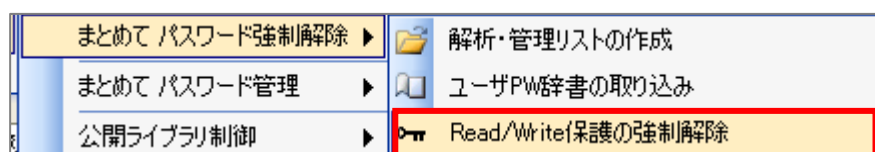
注意: パスワード辞書は、「環境設定」で設定したログフォルダ下に作成されます。他の Excel 内部統制シリーズをお使いの場合は、ログフォルダパスを共有することで、辞書も共有されます。なお、このファイル名は“Password.Save.txt”で、不正に利用されないように管理してください。

## ② 解除ブックの選択

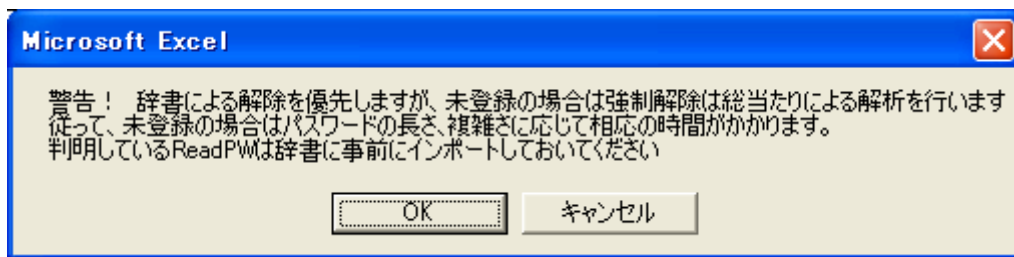
選択	ID	File Name	Read	rPW	Write	wPW	Book	bPW	Sheet	sPW	sList	Macro	mPW	Address
●	1	DataBook Sample.xls	※		※		※		※					E:\内部統制管理\パスワード管理\ライブラリ\PasswordBookSample.xls
●	2	DataBook Sample2.xls									1*3	※		E:\内部統制管理\パスワード管理\ライブラリ\PasswordBookSample2.xls

解除したいブックを選択(セルをクリック: 複数のセルの選択も可能です)

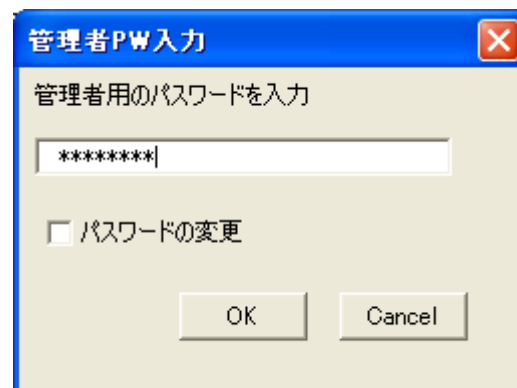
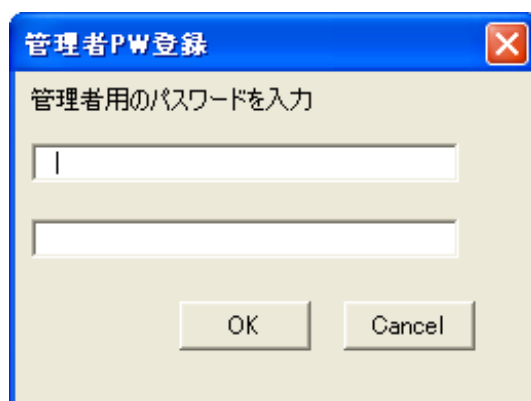
### 5.3.2 Read保護のパスワード解除: 設定されていない場合は本操作は不要です



- ・パスワードの解除はまず、①で作成した「パスワード辞書」を評価します。解決できない場合に、総当たりのパスワード解除に移行します。
- ・Writeパスワードの解除はReadパスワードの解除によって同時に行われます。



- 管理者PWの入力: パスワードの強制解除等を行う場合、管理者としてのパスワードが求められます。未登録の場合は、パスワードを登録してください。本、パスワードは以降のパスワードの変更等の局面においても求められますので、失念しないように願います。



#### ④Read パスワードの強制解除条件の設定

Read/Write 保護の強制解除

解析条件

☒ ユーザ辞書 ¥PasswordSave.txt 参照

☒ abc (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz)

☐ ABC (ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ)

☒ 数字 (0123456789)

☐ 特殊記号 (半角) &#x21;\_

評価パスワード長 1 ~ 4 開始文字列

分割実行

☐ 選択 1 から 4

ステータス

一括: 評価パスワード:

開始 終了

- ・ユーザ辞書の使用を設定
  - ・半角アルファベットを選択
  - ・全角アルファベットを選択
  - ・数字を選択
  - ・半角特殊文字選択(編集可能)
- ※評価パスワード長を指定※1
- ・開始文字列：判明した場合にのみ利用
  - ・分割：数字の場合'0' → '1'  
→ ... '999' → '0000' → '1000'  
→ '2000'の順で評価される
  - ・ステータス表示

※1:性能に4桁から5桁に変更した場合、英数小文字のみの場合では最大(26+10)倍の時間を要します。従って桁数が多いと思われる場合は、調査によりパスワードを予め登録しておくことが現実てきな対応となります。

### ・解除時間の目安値

実行時間の目安値を表示:半角アルファベット、数字の組み合わせで最大4桁のパスワードの総当たりには秒100回の評価環境で最大約5時間を要することを示す。

Microsoft Excel

100 [回/秒]の性能の環境では一件当たり最大 17276 秒[ 約 5 H]の時間がかかります

OK

Read/Write 保護の強制解除

解析条件

☒ ユーザ辞書

☐ abc (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz)

☐ ABC(ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ)

☒ 数字(0123456789)

☐ 特殊記号(半角)

¥PasswordSave.txt

参照

&#-!\_

評価パスワード長

1 ~ 4

開始文字列

分割実行

☐ 選択

から

ステータス

一括: 2/2 実行中

評価パスワード: rji

■一括強制解除を開始します

・一括解除の開始時刻 = 2011/02/19 14:40:15

■指定されたファイル: E:\版数管理\Folder\開発ライブラリ\DataBook\DataBook\_Sample.xls の解除

・開始時刻 = 2011/02/19 14:40:15

・Read保護はOnです。解析処理を開始します

★辞書モードで解除できませんでした。

●【総当たり】成功! パスワードは = rpw :【経過時間】=00.01.34

・Read/Write保護をOFFにしました。

■指定されたファイル: E:\版数管理\Folder\開発ライブラリ\DataBook\DataBook\_Sample2.xls の解除

・開始時刻 = 2011/02/19 14:41:50

・Read保護はOffです

■一括強制解除が終了しました。Read/Write保護とも全て解除されています。

・一括解除の終了時刻 = 2011/02/19 14:41:51

【経過時間】= 00.01.34

【速度】= 204回/秒

【累積回数】= 23,698 / 1,727,604

開始

終了

- ・解析結果ログ
- ・ID=11 のブックの Read パスワード = "rpw" で解除に要した時間は1分34秒
- ※本パスワードは辞書に登録されます
- ・ID=121 のブックの Read 保護はオフ
- ・解析マシンのパフォーマンス
- ・解析回数の累計

解析結果

Yuzu&Pato Excel内部統制【版数管理】		Version	※ 有効なPW値	※ 未定義PW	※ 誤PW	#	一時解除PW	空	PW無し						
選択	ID	FileName	Read	rPW	Write	wPW	パスワード解除状態	Book	bPW	Sheet	sPW	sList	Macro	mPW	Address
●	11	DataBook_Sample.xls					※	※	※	※	1*3	※	※		E:\版数管理\Folder\開発ライブラリ\DataBook\DataBook_Sample.xls
●	12	DataBook_Sample2.xls					※	※	※	※	1*3	※	※		E:\版数管理\Folder\開発ライブラリ\DataBook\DataBook_Sample2.xls

ID=11 のブックは、Read 保護が解除されたが、Book、Sheet、Macro のパスワードが未解決であることを示しています。なお、解除された Read パスワード値は辞書に登録されます。

5.3.3 ブック、シート、マクロ保護の解除

条件1: Read 保護が解除されている条件のもとで、ブック、シート、マクロのパスワードを強制解除します。

条件2: パスワード辞書に登録されている場合は、シート、ブック PW に関しては辞書による解除を優先します。

マクロ PW は、環境設定で強制解除モードに設定されています。

まとめて パスワード強制解除

まとめて パスワード管理

公開ライブラリ制御

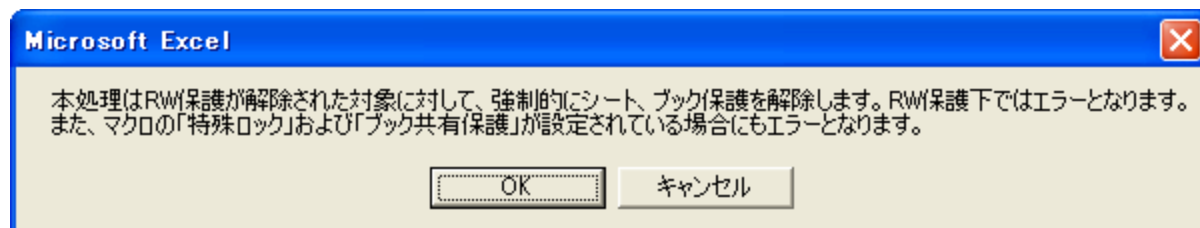
解析・管理リストの作成

ユーザPW辞書の取り込み

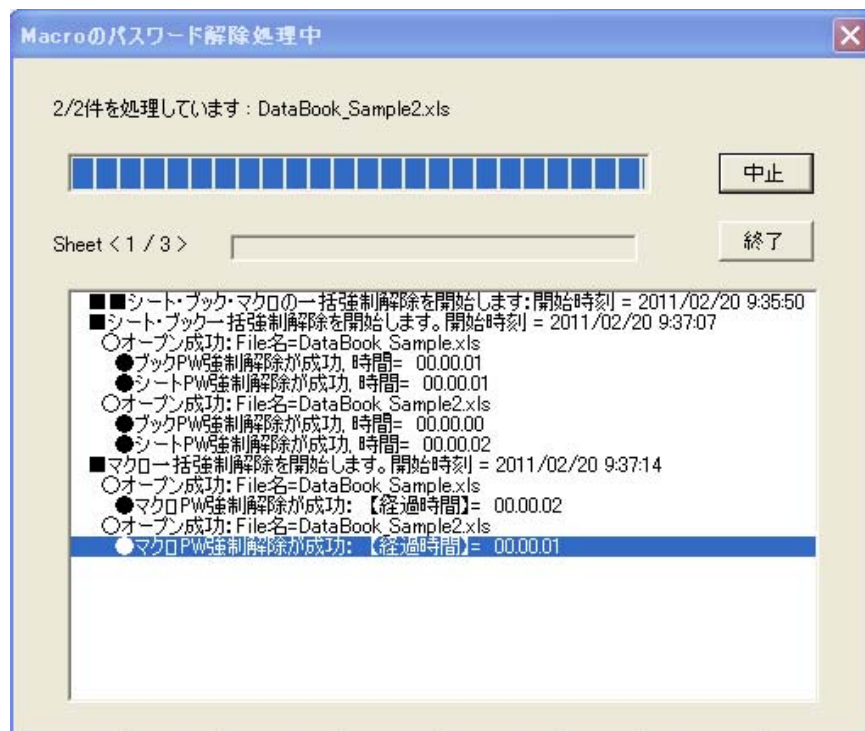
Read/Write保護の強制解除

シート・ブック・マクロ保護の全Book解除

## ①・起動時のメッセージ



## ② 起動および・解除結果ログ

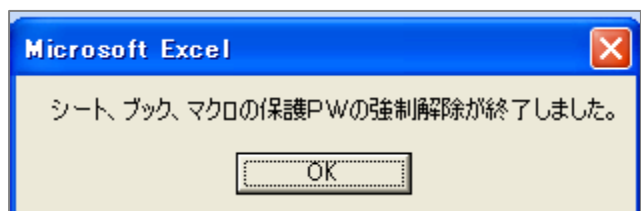


- ・ シート保護、ブック保護の解除は Read 保護解除ほどの時間はかかりませんが、数分の時間を要する場合があります。
- ・ ブックの共有保護が設定されているとエラーになります
- ・ マクロのロックが設定されていると、エラーになります
- ・ 解除したパスワード値は、本来設定されていた値と異なるため、パスワード辞書には登録されません。

[ エラー処理]: マクロ保護の強制解除の場合、たまにパスワード入力画面が裏に作成され入力待ちの状態が処理がストップする場合があります。

このような場合はタスクマネージャを起動すると、待機画面が表示されますので、パスワード入力画面にてキャンセルを実行後に再度解除してください。

## ③・完了メッセージ





## 6. 管理ブックへのパスワード設定とプロパティの設定

管理する Excel ブックは、内部統制を確保するためには適切なパスワードの設定が必要です。以下の観点で、パスワードを運用してください。

	パスワードの種類	説明
	Read 保護	個人データ等を含むデータを公開する場合は、セキュリティ上必要と考えられます。
	Write 保護	
	Book 保護	ブック保護がオフの場合、ブックシートの挿入等により数式の変更が可能になります。数式を含むワークブックにおいてはセキュリティ強度を高めるためにブックシートを削除後にブック保護が求められます。
	Sheet 保護	数式を含むワークブックにおいては、式の変更を防止するためにセルのロックとともにシートの保護がセキュリティ強度を高めるため求められます。
	Macro 保護	マクロコードを伴うワークブックにおいては、マクロロジックの変更を抑止するためにマクロ保護がセキュリティ強度を高めるため求められます。

また、Excel ブックのプロパティ情報の設定管理が可能である(赤くハッチングされた属性値が対象)

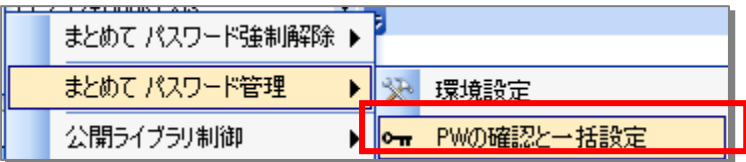
Yuzu&Pato_Excel内部統制【版数管理】			Version								
選択	ID	File Name	Excel Property Info.								
●	2	DataBook Sample.xls	Title	Company	Manager	Creator	CreatedDate	UpdateTime	Comments	Category	CheckOut
	3	DataBook Sample2.xls				nitta	2011/2/4 10:41	2011/2/21 9:54			
	4	DataBook Sample3.xls				nitta	2011/2/4 10:41	2011/2/20 9:37			
						nitta	2011/2/4 10:41	2011/2/20 10:16			

例: 作成者、作成日、および更新日以外の空白の属性値に関しては、Excel でデフォルト保存した状態では値が設定されていません。

6.1 パスワードの確認と一括設定

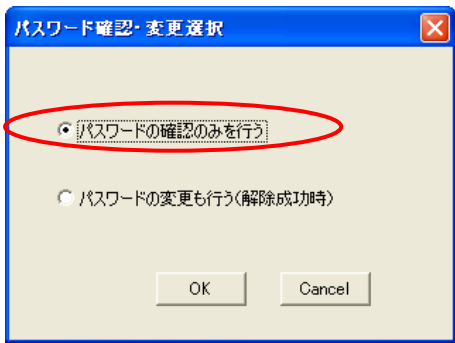
本機能は、選択されたブックに関して、パスワードが解決(パスワードが設定されているが、正しいパスワード値が登録されている)している状態において一括して変更することができます。

①コマンド起動



① スワードの確認

本操作は、パスワードが解決しているか否かを確認するものです。



- 確認内容は、
- ・PW 設定の有無
  - ・登録 PW の正否

確認結果は以下の通りです。

※	有効なPW値	※	未定義PW	※	誤PW	#	一時解除PW	空	PW無し
---	--------	---	-------	---	-----	---	--------	---	------

	状態値	識別色	説明(開発 Library フォルダ下のブックに対して)
	なし	白	PW が未設定
	※	灰	PW が設定されているが、値が未登録
	※	白	PW が設定されており、正しい値が登録済み
	※	紫	PW が設定されており、誤った値が登録されている
	#	黄緑	PW が一時解除状態にあり、Check_In、Out で使用される

③パスワードの変更

- ・②の画面にて、「パスワードの変更」を選択します
- ・PW を解除できない場合は、変更はできません



## ④パスワードの一括変更の設定

実行する保護PWを指定してください

**3 個が選択されていますので、一括して変更されます。**

注意:一括変更を行わない場合は、「Cancel」を実行して、個別に選択してから起動してください。  
表示されているパスワード情報は選択された先頭のBookのものです。  
ただしパスワード解除ができなかったものは適用されません。

☒ 読み取り保護PWの更新を実行。「null」を指定すると解除になります。  
rPW1

☐ 書き込み保護PWの更新を実行。「null」を指定すると解除になります。  
[ ]

☒ Book保護PW(シート構成)の更新を実行。「null」を指定すると解除になります。  
bPW1

☒ Sheet保護PWの更新を実行(選択されたリスト)。「null」を指定すると解除になります。  
SPW1

保護の対象とするシート番号列を昇順に、カンマ","で区切って指定してください。例:1,2,3\*4  
なお、指定が無い場合は全シートとします。

シートリスト  
☐ 新規指定 1,2,3\*3 ☒ 既存選択

Protectionの変更  
☒ Protection変更 プロファイル値 [ ] 設定

☒ Macro保護PWの更新を実行。「null」を指定すると解除になります。  
MPW1

OK Cancel

- ・一括設定: 選択されたブックに対して
- ・PW の設定指定: チェックをオンに設定
- ・Sheet 保護: 同一 PW 値を適用
- ・Sheet 選択: シート番号のリストを指定

・全シートの場合は、「新規設定」で null 値を指定

- ・プロテクションの個別指定: 必要に応じて  
以下のシート保護の赤線部の設定

注意: この機能は Excel2000 では利用できません

## ・変更の確認メッセージ

Microsoft Excel

- Read保護は、rPW1 に更新されます。
- Writed保護は変更されません。
- ブック保護は、bPW1 に更新されます。
- シート保護は、SPW1 に更新されます。  
但し、シート保護は既存の定義が対象となります。  
・ Protectionプロファイルは変更されません。
- マクロ保護は、MPW1 に更新されます。

OK キャンセル

シートの保護

☒ シートとロックされたセルの内容を保護する(C)  
シートの保護を解除するためのパスワード(P)  
[ ]

このシートのすべてのユーザーに許可する操作(C):

- ☒ ロックされたセル範囲の選択
- ☒ ロックされていないセル範囲の選択
- ☐ セルの書式設定
- ☐ 列の書式設定
- ☐ 行の書式設定
- ☐ 列の挿入
- ☐ 行の挿入
- ☐ ハイパーリンクの挿入
- ☐ 列の削除

OK キャンセル

⑤一括設定されたパスワード結果

棚卸【ブック保護】Version = 1.054			※	有効なPW値	※	未定義PW	※	誤PW	#	一時解除PW	空	PW無し	
選択	ID	FileName	パスワード解除状態										
			Read	rPW	Write	wPW	Book	bPW	Sheet	sPW	sList	Macro	mPW
●	2	DataBook Sample.xls	※	rPW			※	bPW	※	sPW	1,2,3*3	※	mPW
●	3	DataBook Sample2.xls	※	rPW			※	bPW	※	sPW	1,2,3*3	※	mPW
●	4	DataBook Sample3.xls	※	rPW			※	bPW	※	sPW	1,2*2	※	mPW
●	5	コピー～DataBook Sample(口庫情報1.xls) 未登録.xls	※	rPW			※	bPW	※	sPW	1,2,3*3	※	mPW

6.2 PW の訂正

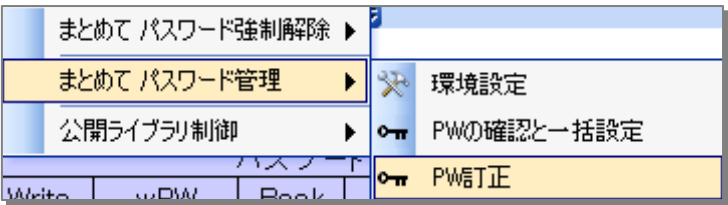
下記例では、ID=2のブックのパスワードパスワード値の“bPW1”が誤っている場合を示している。

このような場合に、訂正を行います。

選択されたブックに関し、順次、訂正を行い確認を行います。

Yuzu&Pato Excel内部統制【【版数管理】】 Version			※	有効なPW値	※	未定義PW	※	誤PW	#	一時解除PW	空	PW無し	
選択	ID	FileName	パスワード解除状態										
			Read	rPW	Write	wPW	Book	bPW	Sheet	sPW	sList	Macro	mPW
●	2	DataBook Sample.xls	※	rPW1			※	bPW1	※	SPW1	1,2,3*3	※	MPW1
●	3	DataBook Sample2.xls	※	rPW1			※	bPW1	※	SPW1	1,2,3*3	※	MPW1
●	4	DataBook Sample3.xls	※	rPW1			※	bPW1	※	SPW1	1,2,3*3	※	MPW1

① コマンド起動



②訂正画面

誤パスワードの訂正

管理番号= 2 , ファイル名= DataBook\_Sample.xls

現パスワード(誤/未設定)

修正/設定のパスワード

Read

rPW1 (は解決済みです)

Write

PWは設定されていません

Book

bPW1 (は訂正・設定が必要です)

bPW2

Sheet

SPW1 (は解決済みです)

Macro

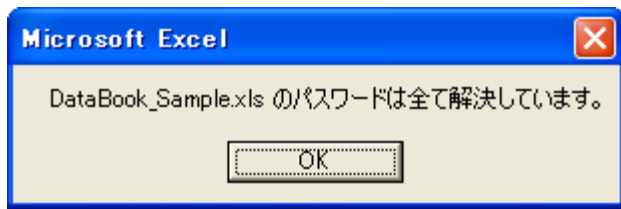
MPW1 (は解決済みです)

OK

Cancel

・訂正 PW を設定

③訂正が成功した場合

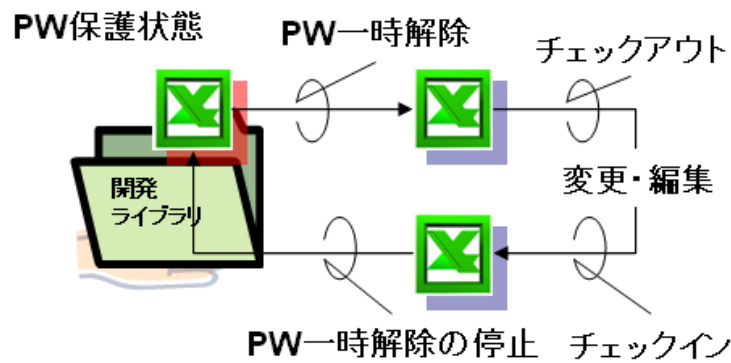


6.3 チェックイン制御とパスワードの一時解除、および同一時解除の停止

チェックイン、チェックアウト制御とは、管理状態にあるものの、編集等で貸した状態を管理することです。したがって貸し出した状態(チェックアウト)では、パスワードの変更や管理情報の変更は抑止されます。

- ・パスワードの一時解除:パスワードが設定されている状態で、ドキュメントの変更等「チェックアウト」のために一時的にパスワードを解除を行います。解除した状態では「※」印が「#」に変わります。  
尚、未解決のパスワードのある状態では、一時解除はできません。
- ・パスワードの一時解除の停止: PW の一時解除された状態で、再度設定状態に戻す。

なお、PW一時解除状態においては、PWの変更や、プロパティの変更は行うことはできません。



①起動コマンド

まとめて パスワード強制解除 ▶				
まとめて パスワード管理 ▶				環境設定
公開ライブラリ制御 ▶				PWの確認と一括設定
Write	wPW	Book	※	パスワード一時解除
				パスワード一時解除の停止

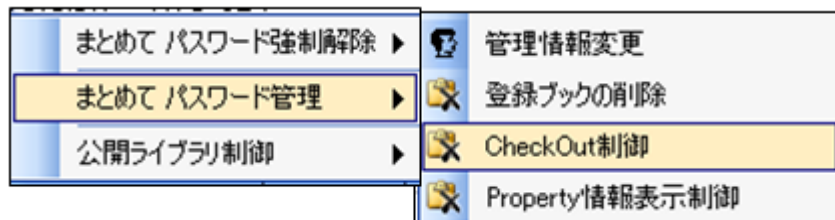
②一時解除の実行

Yuzu&Pato Excel内部統制【版数管理】		Version	※	有効なPW値	※	未定義PW	※	誤PW	#	一時解除PW		空	PW無し
選択		ID	File Name		パスワード解除状態								
			Read	rPW	Write	wPW	Book	bPW	Sheet	sPW	sList	Macro	mPW
●	2	DataBook Sample.xls	#	rPW1			#	bPW2	#	SPW1	1,2,3*3	#	MPW1
	3	DataBook Sample2.xls	※	rPW1			※	bPW1	※	SPW1	1,2,3*3	※	MPW1
	4	DataBook Sample3.xls	※	rPW1			※	bPW1	※	SPW1	1,2,3*3	※	MPW1

③確認メッセージ



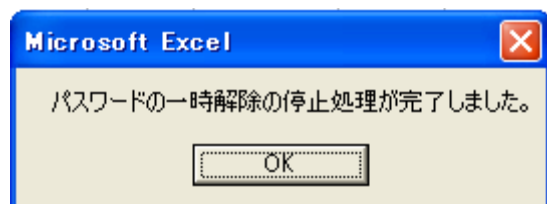
#### ④ チェックアウト、チェックイン操作



Yuzu&Pato_Excel内部統制【【版数管理】】 Ver.1.0									
選択	ID	FileName	Excel Property Info.						
			Title	Company	Manager	Creator	CreatedDate	UpdateTime	Comments
●	2	DataBook Sample.xls				nitta	2011/2/4 10:41	2011/2/24 8:55	
	3	DataBook Sample2.xls				nitta	2011/2/4 10:41	2011/2/21 11:19	
	4	DataBook Sample3.xls				nitta	2011/2/4 10:41	2011/2/21 11:19	

- ④ チェックアウトは、ブックの修正・変更が発生したときに、当該ブックをチェックアウト状態にして作成者に貸し出した状態にします。チェックアウト状態のブックにするには、現在設定されているパスワードを一時的に解除する必要があります。
- ⑤ 修正／変更：作成者により目的に変更・修正が加えられ十分なテストが行われた後に、チェックインを行います。チェックインにおいては、すべてのパスワードは解除されている必要があります。チェックアウト状態にあるブックに対しては、チェックインされるまで、管理者は一切の操作が禁止されます。
- ⑥
- チェックイン状態では、「選択」セルが「橙」色に変わり、プロパティ情報の「CheckOut」欄のセルが“Yes”になります。
- ⑦ チェックイン：同一の名前で、元のフォルダに戻します（上書き）。
- （ア）注意1：別のフォルダに間違えて戻すと、フォルダに残っている旧ファイルをチェックインしたファイルと見なしてしまいます。
- （イ）注意2：リリース時の品質に関しては、本機能の関知するところではありません。

#### ⑤ 一時解除の停止



Yuzu&Pato Excel内部統制 【版数管理】			Version	※	有効なPW値	※	未定義PW	※	誤PW	#	一時解除PW		空	PW無し
選択	ID	FileName	パスワード解除状態											
			Read	rPW	Write	wPW	Book	bPW	Sheet	sPW	sList	Macro	mPW	
	●	2	DataBook Sample.xls	※	rPW1			※	bPW2	※	SPW1	1,2,3*3	※	MPW1
		3	DataBook Sample2.xls	※	rPW1			※	bPW1	※	SPW1	1,2,3*3	※	MPW1
	4	DataBook Sample3.xls	※	rPW1			※	bPW1	※	SPW1	1,2,3*3	※	MPW1	

6.4 ブック属性情報の設定

本機能は、Excel ブックのプロパティ情報を設定管理する。

● 版数管理20110203●.xls プロパティ

ファイルの情報 | ファイルの概要 | 詳細情報 | ファイルの構成 | ユーザー設定

タイトル(T):

サブタイトル(S):

作成者(A): nitta

管理者(M):

会社名(O):

分類(E):

キーワード(K):

コメント(C):

ハイパーリンクの基点(H):

テンプレート:


☐ プレビューの図を保存する(V)

OK

キャンセル

● 版数管理20110203●.xls プロパティ

ファイルの情報 | ファイルの概要 | 詳細情報 | ファイルの構成 | ユーザー設定

 ● 版数管理20110203●.xls

種類: Microsoft Excel ワークシート

場所: C:\Documents and Settings\nitta\デスクトップ

サイズ: 57.0KB (58,368 バイト)

MS-DOS ファイル名: ● 版数2.XLS

作成日時: 2011年2月4日 10:55:20

更新日時: 2011年2月21日 7:18:41

アクセス日: 2011年2月21日 7:18:36

属性: ☐ 読み取り専用(R) ☐ 隠しファイル(D)

☒ アーカイブ(C) ☐ システム(S)

OK

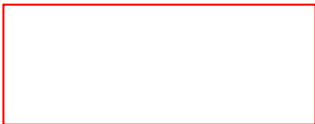
キャンセル

①コマンド起動

まとめて パスワード強制解除 ▶	🔑 PW訂正
まとめて パスワード管理 ▶	📄 管理情報変更
公開ライブラリ制御 ▶	🗑️ 登録ブックの削除

② 初期のプロパティ情報

大半のブックのプロパティ情報は、デフォルト設定値である作成者と作成日、更新日しか設定されていません。



[ 版数管理 ] Version = 1.18.044			Excel Property Info.								
選択	ID	FileName	Title	Company	Manager	Creator	CreatedDate	UpdateTime	Comments	Category	CheckOut
●	1	DataBook_Sample(口取簿帳) xls 本書 最終.xls				Pato	2011/2/4 10:41	2011/2/26 8:42			
●	2	DataBook_Sample.xls				Pato	2011/2/4 10:41	2011/2/26 8:42			
●	3	DataBook_Sample2.xls				Pato	2011/2/4 10:41	2011/2/26 8:42			
●	4	DataBook_Sample3.xls				Pato	2011/2/4 10:41	2011/2/26 8:42			
●	5	口取簿 - DataBook_Sample_口取簿帳(1) xls 本書 最終.xls				Pato	2011/2/4 10:41	2011/2/26 8:42			

### ③設定画面

[illegible]

・「一括」か個別ブックを選択  
例は個別選択

以下、必要に応じて

- ・タイトルの設定
- ・管理部門の設定
- ・管理者の設定
- ・作成者の設定
- ・カテゴリの設定 ※1
- ・コメントの設定

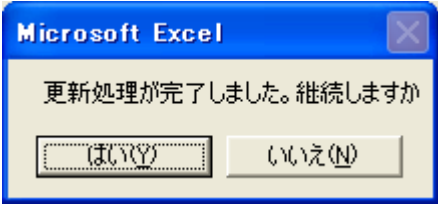
※ 1:カテゴリ設定:本カテゴリ値は、ブックを選択する時のフィルターとして、またパスワードの変更等を防止することも指定できる。

パスワードの変更を禁止する場合は、“#PW\_Locked”の修飾子を付与する。

※2:これらは、登録しておくことにより選択することが可能です。

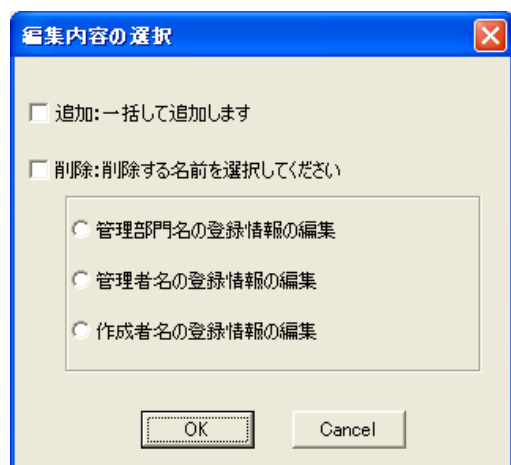
#### ④設定結果

Yuzu&Pato Excel内部統制 【(版数管理)】			Version							
選択			ID	FileName	Excel Property Info.					
					Title	Company	Manager	Creator	CreatedDate	UpdateTime
●	2	DataBook_Sample.xls			T1	経理	A調査役	主任X	2011/2/4 10:41	2011/2/25 11:46
●	3	DataBook_Sample2.xls							2011/2/4 10:41	2011/2/25 11:39
●	4	DataBook_Sample3.xls							2011/2/4 10:41	2011/2/25 11:40



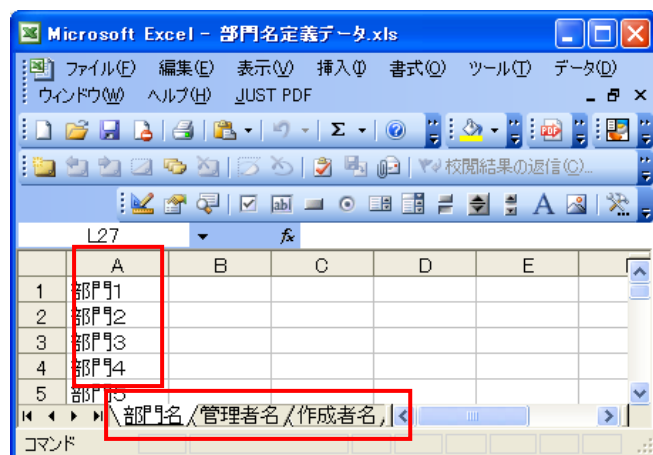
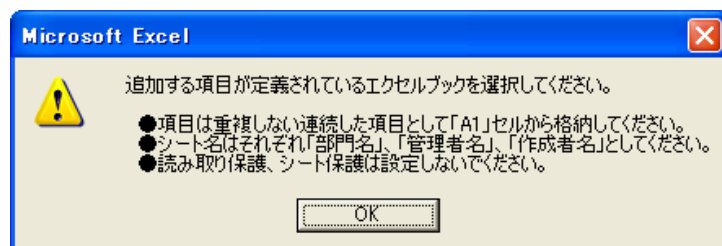


## ⑤登録情報の編集



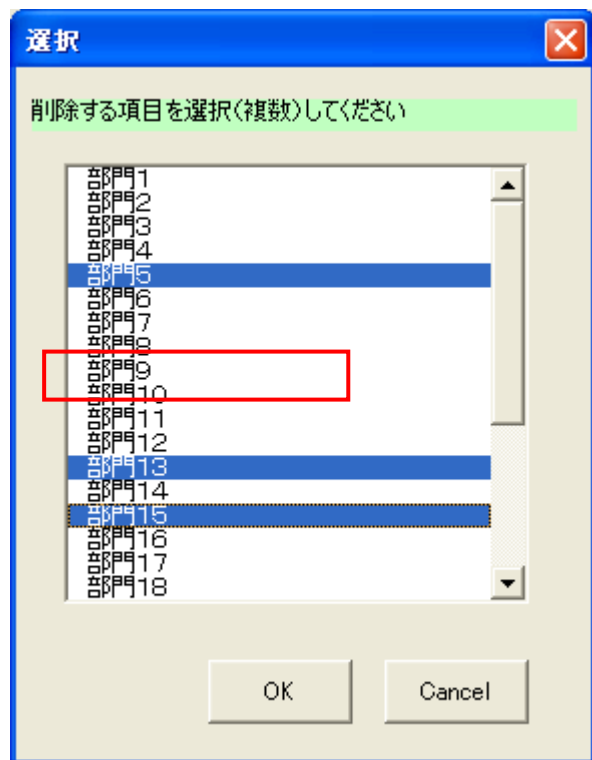
- ・登録情報の追加／削除の選択
- ・削除の場合の対象を選択
- ・追加の場合は、定義データのインポートを行う
- ・

## ・追加の手順



- ・登録データの定義(A1セルから連続)
- ・シート名は「部門名」、「管理者名」、「作成者名」とすること
- ・重複のない名前とすること: 重複名はフィルタリングされ登録されない
- ・登録後は、再ブックの選択によって、メニューリストに反映される

・削除の手順



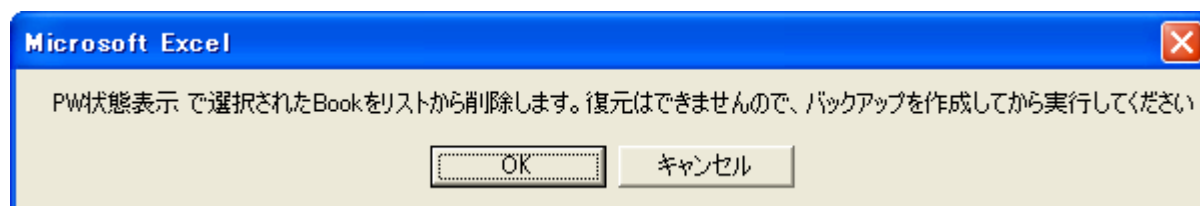
- ・ 離散複数の選択:「Ctrl」押下状態で選択
- ・ 連続複数の選択:「Shift」押下状態で選択
- ・ 登録後 は、再ブックの選択によって、メニューリストに反映される

## 6.5 ブックの削除

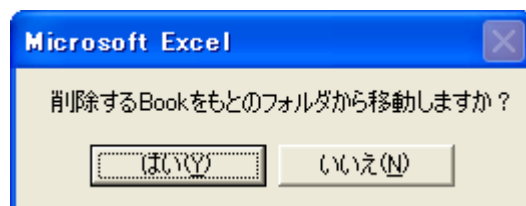
### ①起動コマンド

まとめて パスワード強制解除 ▶	管理情報変更
まとめて パスワード管理 ▶	登録ブックの削除
公開ライブラリ制御 ▶	CheckOut制御

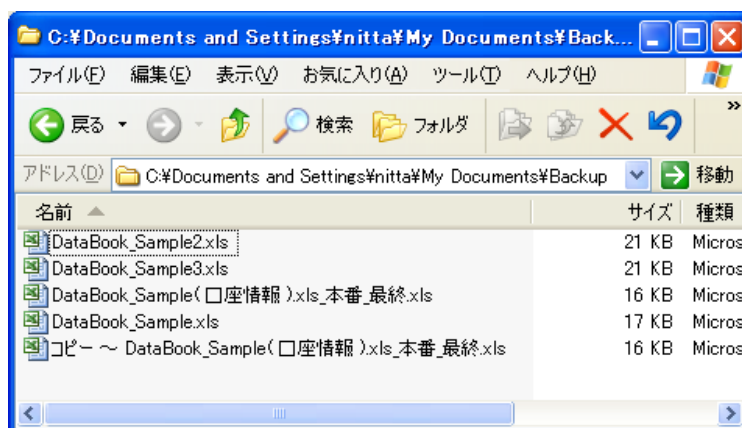
### ②起動時の確認メッセージ



### ③削除時の元フォルダの扱い




・「はい」の選択の場合は、元のフォルダから指定のフォルダに移されます



### ④完了メッセージ





Log\_PW管理.txt - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

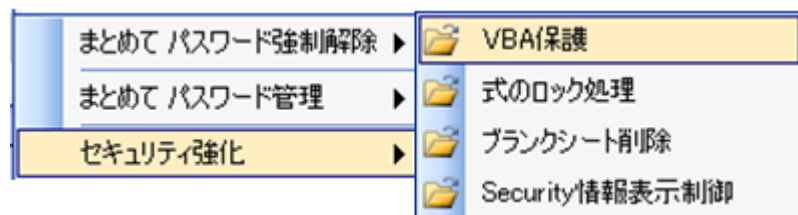
2011/02/26 9:48:27, LoginID=nitta, OP=Book削除(退避), 結果=成功, Book管理番号=1, ファイル名=DataBook\_Sample( 口座情報 ).xls\_本番\_最終.xls  
 2011/02/26 9:48:27, LoginID=nitta, OP=Book削除(退避), 結果=成功, Book管理番号=2, ファイル名=DataBook\_Sample.xls  
 2011/02/26 9:48:27, LoginID=nitta, OP=Book削除(退避), 結果=成功, Book管理番号=3, ファイル名=DataBook\_Sample2.xls  
 2011/02/26 9:48:27, LoginID=nitta, OP=Book削除(退避), 結果=成功, Book管理番号=4, ファイル名=DataBook\_Sample3.xls  
 2011/02/26 9:48:27, LoginID=nitta, OP=Book削除(退避), 結果=成功, Book管理番号=5, ファイル名=コピー ~ DataBook\_Sample( 口座情報 ).xls\_本番\_最終.xls

## 7. セキュリティの強化

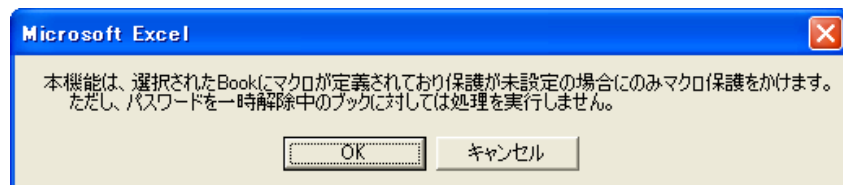
### 7.1 VBA 保護

本コマンドは、VBA マクロコードを含むブックのみをマクロ保護のパスワード設定を行いたい場合に使用する。  
一律設定の場合は、「5.1 パスワードの確認と一括設定」にて行う。

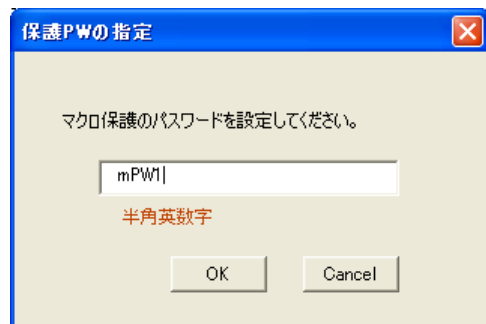
#### ① 起動



#### ② 起動確認

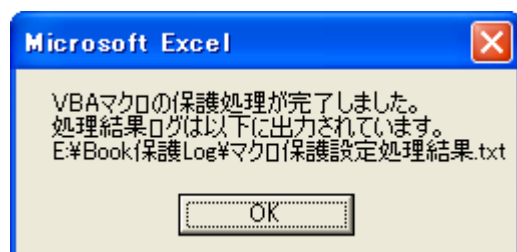


#### ③対象ブックを検知した場合の、パスワードの指定



: 複数の対象がある場合は、同じパスワード値が適用されます

#### ④完了メッセージ



⑤適用結果

棚卸【ブック保護】Version = 1.073					
選択	ID	FileName	Security強化		
			式Lock	VBA保護	空白シート削除
●	1	DataBook_Sample(口座情報).xls_本番_最終.xls	—	●	—
●	2	DataBook_Sample.xls	●	—	—
●	3	DataBook_Sample2.xls	●	●	—
●	4	DataBook_Sample3.xls	—	—	—
●	5	コピー ~ DataBook_Sample(口座情報).xls_本番_最終.xls	—	—	×

- 「●」: マクロを含む Book に保護設定
- 「—」: マクロなしの Book で該当せず
- 「×」: パスワード等のエラー

棚卸【ブック保護】Version = 1.073													
選択	ID	FileName	※ 有効なPW値 ※ 未定義PW ※ 誤PW # 一時解除PW 空 PW無し										
			パスワード解除状態										
			Read	rPW	Write	wPW	Book	bPW	Sheet	sPW	sList	Macro	mPW
●	1	DataBook_Sample(口座情報).xls_本番_最終.xls										※	mPW1
●	2	DataBook_Sample.xls							※	sPW	3*3		
●	3	DataBook_Sample2.xls							※	sPW	1, 2, 3*	※	mPW
●	4	DataBook_Sample3.xls											
●	5	コピー ~ DataBook_Sample(口座情報).xls_本番_最終.xls											

今回、新たに設定したブック

元から保護済みのブック

④ ログデータ

: 環境制定で指定したログパス下の「マクロ保護設定処理結果.txt」に保存されます

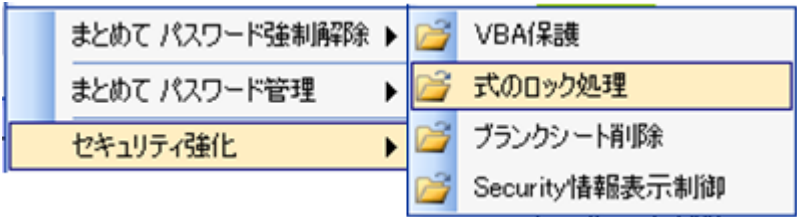
■ 2011/03/09 8:17:23 【ブック保護】:マクロ保護設定処理結果 , LoginID =nitta

- ・結果=保護設定 , 管理番号= 1 , ファイル名= DataBook\_Sample( 口座情報 ).xls\_本番\_最終.xls , PW= mPW1
- ・結果=マクロ無し , 管理番号= 2 , ファイル名= DataBook\_Sample.xls
- ・結果=保護済み , 管理番号= 3 , ファイル名= DataBook\_Sample2.xls
- ・結果=マクロ無し , 管理番号= 4 , ファイル名= DataBook\_Sample3.xls
- ・結果=マクロ無し , 管理番号= 5 , ファイル名= コピー ~ DataBook\_Sample( 口座情報 ).xls\_本番\_最終.xls

7.2 式のロック

ワークシートに定数を伴って式を配置する場合がある。誤った破壊や改造を抑止するためには、少なくともこれらのセルにはロック設定して、シート保護が必要である。しかし、人に対応することは多くの手間が必要になる。本コマンドは式が定義されたシートにおいて、式の定義されたセルとともに、文字列のセルもロックを行いシートのロックを設定する。

① 起動コマンド

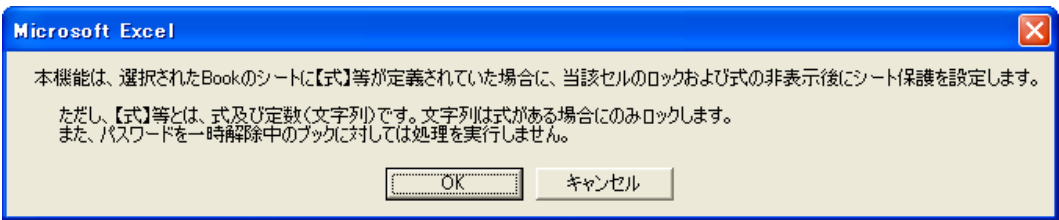


②適用舞前のシート

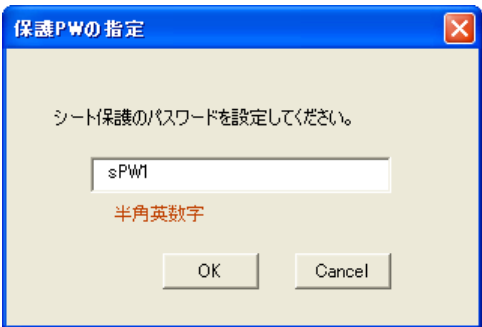
名前	口座番号	残高
LfR6MNtbe8E=	42RSQjbpQ4h1NJqSR/z6lZbXyCyLBgmN	IE+HEkrxOpE=
XTfs0ChZS00=	42RSQjbpQ4h1NJqSR/z6lQWqCkdPyEx	IE+HEkrxOpE=
F5D516FuFq4=	42RSQjbpQ4h1NJqSR/z6lSZAKGREUax	IE+HEkrxOpE=
EwgJCzjL9bs=	42RSQjbpQ4h1NJqSR/z6lQWqCkdPyEx	IE+HEkrxOpE=
NhOMPcDvd6o=	42RSQjbpQ4h1NJqSR/z6lQWqCkdPyEx	IE+HEkrxOpE=
YGRsEGXG/YY=	42RSQjbpQ4h1NJqSR/z6lRPsvR+PrmpB	IE+HEkrxOpE=
IxFcToGh8gw=	42RSQjbpQ4h1NJqSR/z6lQ7jJluGGu2y	IE+HEkrxOpE=
Fs0ZWdcTXLI=	42RSQjbpQ4h1NJqSR/z6lZ1UiBgaRehA	IE+HEkrxOpE=
Ci5kWgEIA00=	42RSQjbpQ4h1NJqSR/z6lTIdpqwZv10	IE+HEkrxOpE=
	合計	0

- ・ 未ロック状態で、シート保護なし
- ・ 文字列を伴う：本例のデータは DES 暗号化（【版数管理】を利用の場合）されたものです。
- ・ 条件付き書式設定、入力規則の定義された入力セルは対象になりません
- ・ 黄のセルには数式を定義
- ・

③ 起動確認

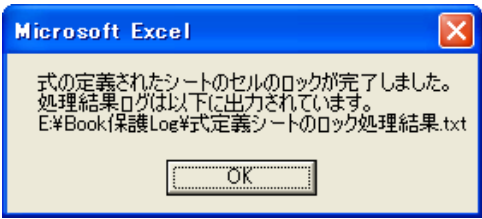


④対象ブックを検知した場合の、パスワードの指定



：複数の対象がある場合は、同じパスワード値が適用されます

⑤ 完了メッセージ



⑥ 処理結果

棚卸【ブック保護】Version = 1.073				
選択	ID	FileName	Security強化	
●	1	DataBook_Sample(口座情報).xls_本番_最終.xls	式Lock	VBA保護
			●	●
				—

- ・ 「●」 式のロック処理を適用
- ・ 「—」 本処理を不適用
- ・ 「×」 オープンエラー等

シート保護の適用

棚卸【ブック保護】Version = 1.073					※	有効なPW値	※	未定義PW	※	誤PW	#	一時解除PW	空	PW無し
選択	ID	FileName	パスワード解除状態											
			Read	rPW	Write	wPW	Book	bPW	Sheet	sPW	sList	Macro	mPW	
●	1	DataBook_Sample(口座情報).xls_本番_最終.xls								※	sPW1	1*3	※	mPW1

今回、新たに設定したブック  
#1 にシート保護 “sPW1” を設定

セルのロック状態：式および文字列のセルに対してロックを適用

名前	口座番号	残高
LfR6MntbE8E=	42RSIjtpQ4h1NjqsR/z6lZb%yCyLBgmN	IE+HEkrxOpE=
IS02VW0CTX0=	42RSIjtpQ4h1NjqsR/z6lZb%yCyLBgmN	IE+HEkrxOpE=
C15kWgEIA00=	42RSIjtpQ4h1NjqsR/z6lZb%yCyLBgmN	IE+HEkrxOpE=
	合計	0

Microsoft Excel

変更しようとしているセルまたはグラフは保護されているため、読み取り専用となっています。

保護されているセルまたはグラフを変更するには、[ツール] メニューの [保護] をポイントし、[シート保護の解除] をクリックして保護を解除します。パスワードの入力を要求されることもあります。

OK

⑤ ログ

：環境制定で指定したログパス下の「式定義シートのロック処理結果.txt」に保存されます

■ 2011/03/09 10:16:48 【ブック保護】：式定義シートのロック処理結果，LoginID =nitta

・ 結果=保護設定，管理番号= 1，ファイル名= DataBook\_Sample(口座情報).xls\_本番\_最終.xls，PW= sPW1，SheetList= 1\*4

⑥ その他

全シートの保護は、「5.1 パスワードの確認と一括設定」にて行う。



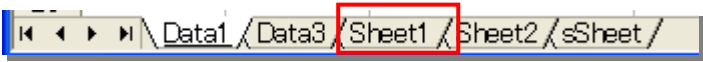
7.3 ブランクシートの削除

ブランクシートの削除の目的は、ロック等で保護された式が定義されたシートのセルをブランクシートにコピーして、式の改ざんを行うことを抑止するために、余分なブランクシートを削除するものである。  
しかし、他の Book へのセルのコピーなどは可能であり、根本的な対策にはならない。

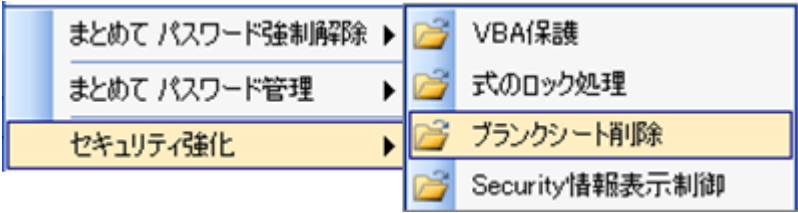
① ブランクシートの定義

データ	シート名	
	固有シート名	デフォルトシート名（例：Sheet1）
あり	非ブランクシート	非ブランクシート
なし	非ブランクシート	ブランクシート

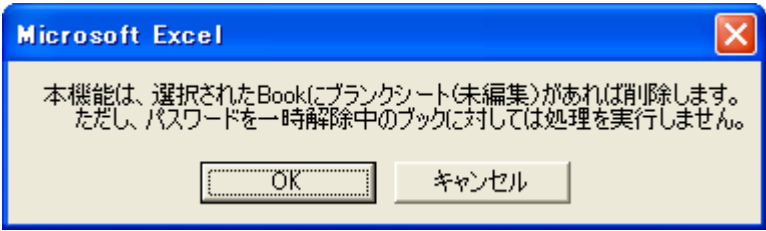
例：シート「Data3」、シート「Sheet1」はデータ無し。他はデータあり：削除されるのは「Sheet1」



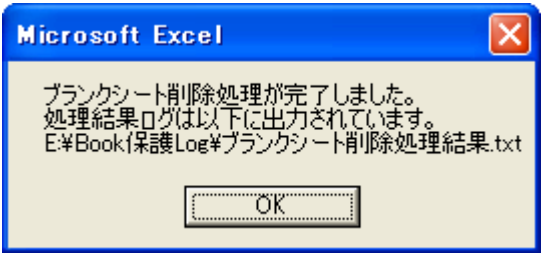
② 起動コマンド



③ 起動確認メッセージ



④ 完了メッセージ



⑤ 処理結果

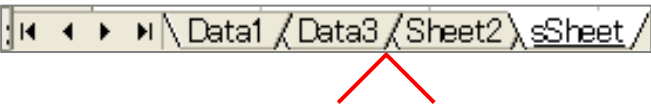
棚卸【ブック保護】Version = 1.073					
選択	ID	FileName	Security強化		
			式Lock	VBA保護	空白シート削除
●	1	DataBook_Sample(口座情報).xls_本番_最終.xls	●	●	●
	2	DataBook_Sample.xls	●	—	—
	3	DataBook_Sample2.xls	●	●	—
	4	DataBook_Sample3.xls	—	—	—
	5	コード～DataBook_Sample(口座情報).xls_本番_最終.xls	—	—	×

- ・ 「●」 本処理を適用
- ・ 「—」 本処理を不適用
- ・ 「×

棚卸【ブック保護】Version = 1.073											
選択	ID	FileName	パスワード 解除状態								
			Read	rPW	Write	wPW	Book	bPW	Sheet	sPW	sList
●	1	DataBook_Sample(口座情報).xls_本番_最終.xls							※	sPW1	1*4
	2	DataBook_Sample.xls							※	sPW	3*3
	3	DataBook_Sample2.xls							※	sPW	1, 2, 3*3
	4	DataBook_Sample3.xls									
	5	コード～DataBook_Sample(口座情報).xls_本番_最終.xls									

今回、空白シート削除結果  
[1\*5]→[1\*4]：シートが一枚削除された

- ・ 削除後のシート構成：空白シートが削除



⑥ ログ

：環境制定で指定したログパス下の「空白シート削除処理結果.txt」に保存されます

■ 2011/03/09 9:53:44	【ブック保護】：空白シート削除処理結果，LoginID =nitta
・ 結果=削除あり，管理番号= 1，ファイル名= DataBook_Sample(口座情報).xls_本番_最終.xls，Book_PW=，SheetList= 1*4	

⑥ その他

全シートの保護およびブックの保護は、「5.1 パスワードの確認と一括設定」にて行う。